

研修名 マネジメント

令和元年5月20日(月) 13:30~16:00

講演 「保育士施設における人材育成とは」

演習 「これからの組織と人づくりくり 未来予想図を作ろう」

講師 大阪教育大学 小崎 泰弘 氏

1 ワークショップを通じて理想のリーダー像と保育の質について考える

1) リーダーシップとは何か

保育所における組織の人的要因は3つあり、「人、関係性、コミュニケーション」である。人とは個人の能力や資質を指す。関係性とは、個人と個人との関わりのあり方や、それから影響を受ける行動や意思決定のこと。コミュニケーションは、お互いの意思疎通の程度のことである。これらの人的な要因を意図的にコントロールし、それぞれの能力を最大化させることがリーダーシップである。リーダーシップには主に3つの種類がある。

①専制型リーダーシップ

- ・王様的にリーダーが全てを決める

②民主主義リーダーシップ

- ・話し合いを中心として物事を決める

③放任型リーダーシップ

- ・リーダーがあまり関わることをしない

自然災害などの緊急時は、専制型が必要になるときもあれば、クラス運営に関してはある程度放任型がいい場合もある。理想のリーダーのタイプは何がいいのか一概には言えないが、どんなリーダーになりたいのかを常に意識することが大切である。

2) ワークショップで見えてきた理想のリーダー

5~6人のグループに分かれ、今まで自分の周りにいた「すばらしい」と思ったリーダー、「うーん、ちょっとなあ」と思ったリーダーの特徴をカードに書き出し、その特徴を人間性と専門性に分けた。すると、圧倒的に人間性について書いてあるカードが多く、人間性にリーダーとしての素晴らしさを感じているかどうかはわかった。保育の仕事は、必ず専門性が必要になってくるものだが、その前提として人間性が求められている。(保育の専門性や知識が必要ではないということではない) 人としてリスペクトできるのか、組織を守ってくれるかなどが重要となり、その次に求められるのが専門性である。常に自分がどうかを振り返り、理想のリーダーを意識しながら後輩指導を行ったり、保育の質の向上を目指してミドルリーダーとして今できることしようとする意識が大切である。

3) マネジメントと保育の質的向上

保育の質には3つあり、保育自体の質、サービスの質、職員組織の質である。これらの3つを見つめ直し、質の向上を目指していかないといけない。

① 保育自体の質

- ・社会全体が当たり前だということを保育所でも当たり前になっているか。子どもに対する言葉遣いや呼び方は適正であるかどうか（保護者の前で呼び方を変えていないか）、けがの昨年比較を行っているか。

② サービスの質

- ・電話対応の仕方が全職員に統一されているか、連絡帳の内容はどうか（たまには管理者がチェックしたほうがよいだろう）

③ 職員組織の質

- ・職員間の連絡ミスの数、会議がただの報告の場になっていないか 等

もちろん、それぞれの保育施設に特色があり、昔から大切にしてきたものもある。それらすべてを変えるという意味ではなく、バランスを考えながら社会に適応していかないといけない。

3) ラベルワーク

保育の質の向上を目指す1つの方法としてラベルワークを行った。テーマは「色」。5～6人のグループに分かれ、30秒間で思いつく色を個人でカードに書き出していく。これだけでも、それぞれに書き出す色は様々でメンバーの多様性、個性に気づくことができた。次のテーマは「子どもに必要な人、モノ、事」。1分間で思いつくものを書き出した。健康、安全、親、優しい人、遊びの場、散歩など様々な意見が出た。それらをグループにわけ、そこから言葉をつなぎ合わせて「子どもに必要な人、モノ、事」を文章や絵で表現した。今回は、この2つのテーマでラベルワークを行ったが、テーマを保育にも転換できる。例えば「保育環境に必要なもの」「保育者に求められるもの」など。

ラベルワークは、全員の意見が出て、そこからコミュニケーションが生まれ、新しい意見に気づくことができる。組織向上のマネジメントにもなる。また質を向上することは未来にもつながっていく。

2 感想

ワークショップで実際に自分も参加して意見を出すことで、リーダーに何が求められているのかがとてもわかりやすかったです。まだまだ経験も浅く自分がリーダーなんてと思っていましたが、最近になって学年リーダーや幼児リーダーを任されるようになり、自分の中でリーダーって何をどうしたらいいのかと漠然としている部分がありました。人間性を磨くのは難しいことだとは思いますが、身近な上司を目標として常に自分がどう見られているか、どうあるべきかを振り返りながら日々の業務を行っていきたいと思います。また、専門性についても未熟な部分が多々あるので、初心を忘れず学ぶ姿勢を大切にしていきたいと思います。ワークショップは、以前職場で取り組んだことがあり、職員の意見や思いを聞くいい機会でした。保護者懇談会でやってみてもいいという言葉には、そういうやり方もあるのかと驚きました。いい方法が聞けてよかったです。また、「研修は受ける前と受けた後で気持ちが変わるのがいい研修」と話されていましたが、この研修を受けて自分の中で意識が変わったように思います。自分が周りからどう見られているのか振り返ることを忘れずにしていきたいと思います。